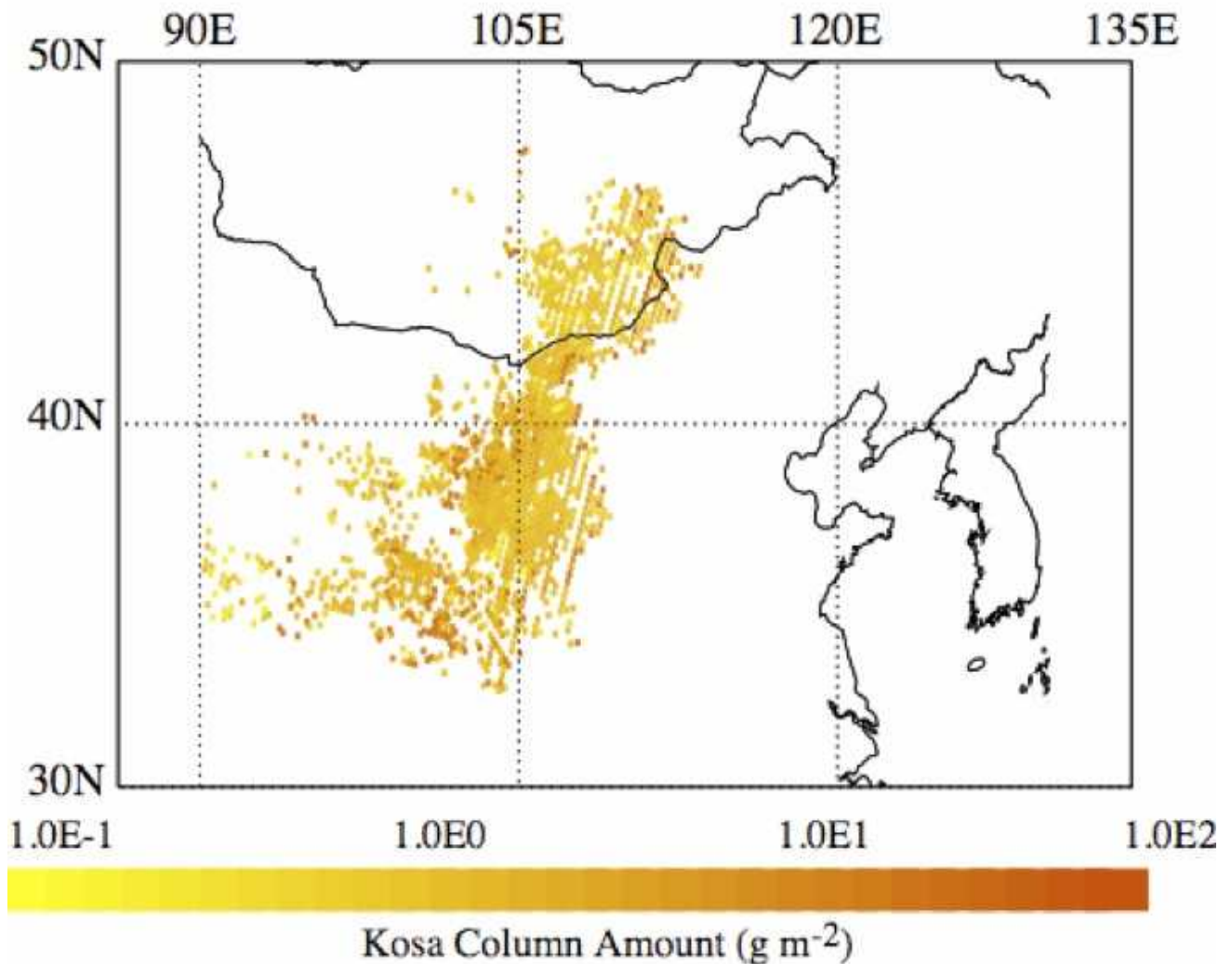


# リモートセンシングデータを用いた大気環境の研究

環境科学コース 久慈 誠



地球環境観測衛星から推定された東アジア内陸部における黄砂の量

リモートセンシングデータを解析することで、自然環境、特に大気環境の把握に努めています。ここで、「リモートセンシング」とは、日本語では「遠隔計測」等と訳されます。そこで、地球環境観測衛星、航空機搭載センサ、あるいは地表面からの観測によって取得された大量のデータについて、コンピュータを用いた解析を行っています。これにより、私達、人間が生活する自然の中で、大気環境、特に雲、水蒸気、エアロゾル、そして日射量の動態の把握を行っています。さらに、このようにして得られた知見に基づいて、次世代の観測センサの開発について、提言を行っています。

キーワード：雲、エアロゾル、水蒸気、日射エネルギー